



復刊第51号

第十七回日本女医学会総会を終えて

会長 三 神 美 和

いつしか今年も初夏を迎え、都会では光化学スモッグに悩まされる時期となりました。会員の皆様にはますますお元気にご活躍のことと心からおよろこびを申し上げます。

去る五月十四日の総会から早や一ヶ月を過ぎましたが私には未だ昨日のように思われてなりません。これは恐らく熱海という土地柄にふさわしい華やかなしかも実のある総会の印象が深く私の脳裡に刻み込まれているからだと思えます。ニューフジヤのあの広いホールが隅から隅まで会員で埋めつくされた光景は正に日本女医学会の力強さを目のあたりに見る思いでありました。特にあの至れりつくせりのご配慮と、楽しい雰囲気をつくって下さった当番県静岡の方々のご尽力はただ有難く感激の極みでありました。仁瓶支部長始め静岡県の会員の皆様ここに改めて厚く御礼を申し上げます。今年度の予算も無事に承認され、こ

れからこの新予算によって本会は動き出すこととなります。今年度の事業としては日本女医学会の継続事業である性教育について推進して参らねばなりません。この総会で行われたシンポジウムはこの事業の推進に大変参考になると思えます。文献収集が一段落した今年度は一歩前進してこれらを整理し将来の本格的実施への体系づくりにとりかからねばならないと思えます。事業部担当の方々に力を合わせ、皆様のよいお智恵を拝借したいと希うております。日本女医学会優功賞が総会で可決され、第一回受賞者として荒川あや先生、小出つる子先生が推薦された事は誠に當を得たことでありおめでたいことだと存じます。お二人に對し心からおよろこびを申し上げ衷心から敬意を表します。この二人の日本女医学会に對するご功績は今更ここで申し上げるまでもないことでありますが、日本女医学会の今日の発展に大きな力をお与え下さい

ました。日本女医学会は日本の女医の集結の場であり中心的存在でありますので会員の皆様のご協力によって更に更に発展し、社会のお役にたきたいと思えます。皆様、何分よろしくお願ひ申し上げます。本総会で誠に残念であったのはトップ賞(仮称)が保留になった事でございました。理事会としては総会の決議にしたがってまた一年とつくりと考え討議して結論を出したいと存じます。役員選挙の細則は前回の選挙の失敗と不備を是正するため細則委員が練りに練ったものだけに、皆様のご賛成を得たことは誠にうれし事でありました。これによって来年の役員選挙はより民主的に明朗に行われるものと期待しております。パリの第十四回国際女医学会総会もいよいよ迫って参りました。先日総会懇親会の直後に行われた打合せ会には百名近い方々が出席され熱心に小野先生、佐野先生および旅行会社員の注意に耳を傾け協力しておられました。百名の旅行団ということになりますと統一行動がなかなか骨の折れることでもあります。各人の協力への心構えこそ大切であります。先日の打合せ会のご様子からみてきつとうまく行くだろうと意を強くしました。総会二日目の小旅行は生憎雨ではありましたが、皆様と親睦を深め、本当に楽しい一日でした。ここでも静岡の先生方のご好意が至る所ににじみ出ておりました。始めから終りまで、何から何まで行き届いたご配慮にただ感激

し、すばらしかつた総会の有様を胸に刻みつけて帰途につきました。

社団法人日本女医学会

第十七回定期総会記録

伊 藤 慶 子 記
小 河 雪 江

静岡の皆様!! 本場に有難うございました。

一、日時 昭和四十七年五月十四日(日曜日)午後一時より、天候雨天
一、場所 熱海市銀座町ニューフジヤホテル内於大ホール
一、大会開催当番県 静岡県
一、総会成立状況 本年三月三十一日現在総会員数四四〇九名中出席会員二二七名、委任状一三二四名で総会成立
一、当日の参加会員数 三九三名、うちニューフジヤ宿泊者数三〇一名、翌日の観光旅行参加者 修善寺方面六二名、館山寺方面五八名計一〇四名
一、理事会終了後、午後一時一〇分より開会式挙行、司会者は柳瀬路子庶務理事
はじめに三神美和会長より先年物故せられた十五名の会員の先生方の冥福を祈る黙禱に始まる。挨拶があつて後開催地静岡県知事代理永原副知事の祝詞を受けた。議長選出は仁瓶礼子静岡県支部長が推薦され決定。議事録署名人は、佐藤ハツ先生、古沢サチ先生の両名が任命され、庶務及び事業報告は

小俣喜久子副会長が担当され、あらかじめ日本女医学会々員の先生方のお手許に送付してあつた印刷物に従いスムーズに進行した。
審議された本年度の予算案総額は九六二〇〇〇円。
佐野アヤ子国際連絡書記による国際女医学会報告は従来行われていた諸外国からの見学、諸外国への見学および学会の実情と、今後一層会員数の増加を計ると共に外国との交流を深めてゆきたいと希望を述べられた。
議事について、議事はさきに推選された仁瓶礼子支部長が議長席に着席、中西清子、守安素女両常任理事より末尾に記載した総会次第に従い議事を進行させたが、来年度の事業計画案のうち、新設予定の毎年の医学部卒業生のトップ者が女医の場合に与えられるトップ賞についてのみもう一度審議の必要があると保留された。その他は昨年度同様「助成」「奨学」「協力」の三つの事業を重点的に実施するなどすべての議事は原案通り満場一致で可決せられ、次期総会の開催地を東京都に決定した。

事業計画のうち今年の奨学事業の表彰者は吉岡弥生賞は学術賞としてホルモンの研究者である藤井徳子先生(東京)、社会賞として瀬治療に献身された林富美子先生(静岡)、僻地診療功労賞は内出みち先生(石川)に贈られた。

なお日本女医学会優功賞は財政その他に援助協力された小出つる子先生(高知)、荒川あや先生(東京)に授与せられ、受賞者の皆様から夫々挨拶の詞があった。



ニュー・フジヤホテル大ホール

期待された当日の講演会は小憩の後、東京女子医大内広子教授の司会により「性教育について」と題し吉田茂子先生、梅津隆子先生より御専門の分野から女性々器、男性々器の解剖と生理およびその機能についてスライドを使用しての学術講演がおこなわれ、山

本すぎ先生からは前国会議員として実際諸外国をお廻りになって得られた貴重な感想、外国と日本の国民性と性道徳感の比較相違、湯本アサ先生は教育者は表面的な性知識のみでなく深い見識を持って教育するようにと強調された。又名古屋支部からもアンケート形式による性意識調査の結果を披露された。

壇上の先生方と会場内に着席の先生方との間に熱のこもった質疑応答もあって、大変盛り上りのある総会も、定刻をやり過ぎ川那部喜美子副会長の閉会の挨拶でなごやかなうちに全部を終了した。

終了後は一同記念写真撮影し、同夜は丸山明宏の「美女振り」を見ながら歌を聞き、又会員の先生方の手品や踊りも拝見して楽しい懇親会の夜を過ごした。

当日の総会次第は左の通り

昭和四十七年度定時総会次第

- 1 開会あいさつ 司会 柳瀬常任理事
- 2 会長あいさつ 三神会長
- 3 議長選出
- 4 議事録署名人選出
- 5 庶務・事業報告 小俣副会長
- 6 国際女医学会報告 佐野国際連絡書記
- 7 議事 (1)昭和46年度決算報告 中西常任理事 (2)基本財産一部訂正について

評議員議事録

石田 妙子

日時 昭和四十七年五月十四日 午前十一時～十二時半

場所 熱海市銀座町ニューフジヤホテル

司会 柳瀬理事

評議員数百十五名、出席者六十二名

委任状三十六通、定款三〇条により評議員会成立

1 会長あいさつ 三神会長

この会の開催に当り静岡支部の方へ心より感謝を捧げる。

2 基本財産一部訂正について 中西理事

基本財産は、昭和四十六年三月三十一日現在では七三万八千円となっていたが、その中八四五、五〇〇円は前受会費のため、今回はその分を除いて、六九二万円となった。

質問なく一同了承。

3 当期剰余金について

当期剰余金一、五三一、〇二〇円のうち五〇万円を日本女医学会優功賞記念品代として処分させていただきたい。

一同了承。

4 昭和四十七年度事業計画案について 守安理事

(3)当期剰余金について

(4)昭和47年度事業計画案について 守安理事

(5)昭和47年度収支予算案について 中西常任理事

(6)定款施行規則一部改正について 小俣副会長

(7)次期総会開催地について、その他 授与式

(8)吉岡弥生賞

(2)へき地診療功労賞

(3)日本女医学会優功賞

性教育について(シンポジウム)

司会 大内広子先生

演者 吉田茂子先生、梅津隆子先生、山本すぎ先生、湯本アサ先生

川那部副会長

9 又、全国の医学部をトップで出た女子学生に賞を出したい案がありよろしく願いたい。

議長選出 会長一任

高知県の支部長の窪氏に決定。

窪議長あいさつ

庶務報告並びに業務報告 小俣副会長

議題

1 昭和四十六年度決算報告 中西理事

2 基本財産一部訂正について 中西理事

基本財産は、昭和四十六年三月三十一日現在では七三万八千円となっていたが、その中八四五、五〇〇円は前受会費のため、今回はその分を除いて、六九二万円となった。

質問なく一同了承。

3 当期剰余金について

当期剰余金一、五三一、〇二〇円のうち五〇万円を日本女医学会優功賞記念品代として処分させていただきたい。

一同了承。

4 昭和四十七年度事業計画案について 守安理事

I 奨学事業

(1)吉岡弥生賞 社会に貢献した人：一名 医学に貢献した人：一名

(2)奨学金 JIMS A (日本医学生国際協会) に対して援助金を出す。日本における加盟校は十五校 会員約二五〇名。加盟国は三十六ヶ国、欧州各国との留学生交換、三〇名のうち女子は十余名。

(3)日本女医学会優功賞 女医学会の地位向上発展の為につくした人に授与する。

(4)医大を一番で卒業した女子学生に賞をおくる。

II 助成事業

(1)へき地診療への助成

(2)公衆衛生、社会福祉への助成

(3)支部助成 支部会員一名につき、一〇〇円。(但し、会費を払った者に對して)

III 協力事業

(1)講演会ならび研修会 ○第十七回定時総会会場に於て講演会(性教育)を行う。

○研修会を行う。

(2)性教育 調査ならびに研修会(月経に對する処理についての調査)

(3)国際交流 第十三回国際女医学会会議に一

○〇余名参加し演題について講演を行う。

開催地パリ
開催期間昭和四十九年九月三日～七日

議題 Toxo Plasmosis について

(4)機関紙の発行 年四回

質問なく、一同了承。

(5)昭和四十七年度収支予算案

中西理事

質疑なく、一同了承。

(6)定款施行規則一部改正について

小俣副会長

定款施行規則の一部改正の必要があり、一部改正した。その案について説明する。

現行規則

第二章 選挙

(理事の選出)

第四条

理事は至誠会、鶴風会、加多乃会よりそれぞれ九名を選出し、その他の理事は会員の中から総会で選出する。

改正案

理事の当選は所属同窓会に関係なく上位六名及び至誠会、鶴風会、加多乃会よりそれぞれ九名、その他の同窓会より二名とし、会員の中から総会で選出する。

(選挙人名簿)

第七条 選挙人名簿は選挙の九〇日前までの正会員とする。

改正案

(選挙人、被選挙人)
選挙人は、選挙の九〇日前までの

正会員とし被選挙人は入会後三年を経た正会員とする。

(理事の選挙方法)

第十三条 理事の選挙は半数連記とする。

改正案

理事の選挙は十五名連記とする。

(会長の選出)

第十五条 会長は総会の議長が出席会員にはかり、そのつと選出方法を定める。

改正案

会長は選出された理事の中から理事が、会長候補を推薦し総会で出席会員が選出する。

(投票の無効)

第十七条 次の投票は無効とする。
(4)定員を越えるもの

改正案

(4)定員を超えるもの及び定数にみ
たないもの

質問 窪氏(高知)

上位六名ですね。
答 そうです。
一同了承。

閉会

7 次期総会開催地について
三 神 会長

役員選挙のため、東京で開催したい。
全員了承。

付

四十七年度の優功賞には、吉岡賞の寄付者の荒川氏、ルーペンダンの特許権を本会に譲渡された小出氏を推したい。

全員賛成。

性教育報告

湯本アサ

一、文献の収集

四十六年度に性教育の調査費として五万円が計上されたので、まず文献を集めた。都道府県の医師会及び教育委員会や会員からの寄贈書その他を購入したもので、約七十冊が集まり、本部事務所にあるので皆様に活用していただきたい。なお性についてはこれから続々と発刊されるので、本部蔵書は氷山の一角に過ぎない。もはや今日には思考の段階ではなくて、実践活動にふみ出すべき時である。

二、タンポンの調査

生理の経血処理用に近年タンポンが市販されているが、結婚前の若い女性などの程度タンポンを使用しているかについて、会員の協力を得て学生を対象に調査した。この調査も文献の収集と同様に四十七年度への継続調査であるが、総会における中間発表では、約三千人のうちタンポンをナプキンと併用している者が八%、タンポンだけを
使用している者が二%で、本調査ではタンポン使用者は案外と少なかった。学校によっては誰かが使い始めると友達もグループに使用者がふえる傾向が見られる。タンポンはこの薬局にも売っているし、価格も手頃、圧縮されているので携帯に便利だし、タンポン挿入で経血が流出する心配も、局所の不快感もないのは、大きな魅力である

三、性教育のシンポジウム

この度の総会で性教育が吉田茂子、梅津隆子、山本スギ、湯本アサの四会員によるシンポジウム形式でとりあげられた。総会期日も迫って、司会者の大内広子理事がスピーカーの斡旋に苦慮されて急ごしらえのメンバーであったが、四名がそれぞれ担当を割り当てられたので、吉田茂子、梅津隆子は女性と男性の性機能について、山本スギは性道徳、湯本アサは性教育に集注した。

が、使用に際してナプキンのように安直には使われない。まず局所の解剖を知り、清潔な手指とゆとりある広さのトイレを必要とし、タンポンを汚染されないように腔口に挿入すること、数時間以内には必ず取り出さねばならないなどの条件を使用者は熟知実行しなければならぬ。一般に未婚の女性がタンポンを使用することはすすめられないが、タンポン使用については、婦人科医及び識者の意見を聞く会を近く持つ予定である。

性機能については

演者がそれぞれスライドを用意されて、最新の単適な説明に、久しぶりに学生当時の講義の思い出がよみがえる。それは性教育の科学的な基盤であり、性の事実を正しく具体的に教えて、ゆがんだ性知識を軌道にのせる原理である。なお年齢十代

前半若年の母の出産児は四十代高齢の母の出産児と同様に、出生児の発育成長が良好でないとの説明は、特に若年者のフリーセックスをいましめている。

山本理事は現状の乱れた性生活を世界的風潮として広い視野から捕えて性道徳の頹廃を説明されたが、性の快楽のみを動物的に追い求める姿は、女性として次代を生み育てる母性愛をもち、医師として世人の指導責任を持つ私たちは、放置し得ぬ現況に思いをかき立てられる。

さて性教育は性科学に土台をおき、そして性のいとなみを社会生活において人間としてあるべき姿に持つてゆくことである。性の開放と放任と草率の時代に世人は性生活が如何にあるべきか、しっかりと見識を持つべきである。それは性行動の中にある道理と不条理とを考え分けることから出発しなければならぬ。性衝動を抑制する意志の問題である。あるべき姿でない行動に対しては、「ノー」とはっきりいえる人間に育てる。そのためには幼児童教育で早期に自己規制能力を開発しておかねばならない。家庭においてまた義務教育において子どもに根深く植えつけておかねばならない心のあり方である。初等教育における性教育が、

全教育領域の一分野として学校教育に織り込まれ、全体の教師によって適正に行なわれることを、私たちは医師として、学校医として側面的に助けてゆきたい。次代を担う子どもたちの教育こそ迂回したやり方のようにだが一番着

実な手段ではないか。世の大人たちは性が単に子どもを生むためのもの或は快楽にふけるセックスから脱却して、人間が人間らしく生きるエネルギーとしての性を認識すべきである。

四、性教育についての会

左記の会が最近発足しました。本部では何れにも申し込みましたが、会員皆様の入会をおすすめします。

(一)財団法人日本性教育協会
昭和四十七年三月発足

理事長 内田 常雄

「現代性教育研究」発刊
東京都千代田区神田錦町三ノ二
一 久友ビル三〇四号

(二)性教育を考える会 会誌発行
昭和四十七年四月会員募集

委員長 奈良林 祥
子ども性教育展 全国八都市で
六月から十一月まで開催
東京都新宿区百人町一ノ五ノ一
丸石ビル プレス七〇

国際女医会について

国際連絡書記
佐野アヤ子

第十三回国際女医会総会は、昭和四十七年九月三日より七日までパリで開催されます。

予定参加人員数は女医九十三名、同伴者九名、出発日は昭和四十七年八月二十八日、団長は三神美和会長で、他

に小野春生先生、藤井壽子先生、佐野アヤ子の三名がお世話役として同行致します。

学術講演の議題は、三神教授および小山教授の「日本における Topical Boats の疫学」で、会議第一日目に藤井先生が発表される予定です。

次に国際女医会副会長の小野春生先生が次期国際女医会会長に立候補されており、当選をお祈り致します。

昭和五十一年開催第十五回国際女医会々議を日本に誘致することが昨年高知市での日本女医会総会で決議されました。他にイスラエル、イランなどが候補地としてあげられております。今回の総会でいづれかに決定されると思えます。日本に決定されました場合は、どうか皆様の協力をお願い申し上げます。

最後に来年度から国際女医会費が値上げ(二四〇円から四〇〇円)される意向があり今回の総会で決議されるはつです。なお、国際女医会本部に対する寄付協力の要請が参っております。

総会参加旅行のための第一回打合せ会……昭和四十六年十月十一日(至誠会本部)

第二回打合せ会……昭和四十七年五月十四日(熱海ニュー富士屋ホテル)を開催し、左記の順序で協議されました。

一、会長挨拶
二、日本側理事及び評議員の選出(国際女医会会員として日本女医会会員は一

〇〇名、その代表理事五名及び評議員二十五名は会議に出席する方から選ぶことになっております。)

三、班編成と班長選出(Aコース班長八名、Bコース班長五名)

四、渡航手続きと旅程の説明

五、一般的説明(服装、支度、買物、経費の問題など)

会誌四十七号国際会議参加応募旅程が左のとおり一部変更になりましたのでご報告いたします。

(1)Aコース、十八日間
期日八月二十八日―九月十五日
東京―アムステルダム(一泊)―ロンドン(三泊)―パリ(七泊)―ジュネバ(二泊)―ローマ(三泊)―東京

(2)Bコース、二十一日間
期日八月二十八日―九月十七日
東京―モスクワ(二泊)―ロンドン(二泊)―ジュネバ(二泊)―パリ(七泊)―ローマ(二泊)―ナイロビ(二泊)―アンプロセリ(一泊)―ナイロビ(一泊)―東京

ロンドンでは五十四名は South London Hospital for Women and Children を見学する予定です。また英女医会より Invitation を受けております。

「参加者」

相原静江、明石寿美子、浅水明子、阿部十七、阿部秀世、五十嵐敬子、石橋洋子、出田艶子、伊藤公子、伊藤二葉、稲葉はま、今奥修子、岩崎てる子、上木艶子、上田いと子、潮田智恵

総会を終って

仁瓶 礼子

五月十四日に熱海のニュー・フジヤホテルで開催された第十七回日本女医会総会には全国から大勢の先生方がご

参加を頂きましてありがとうございます。おかげさまで盛會裡に済すことができました。当番の女医会を代表いたしました厚くお礼を申し上げます。色々不届きな点がございましたことをお詫び申し上げます。

ことに切角のお楽しみ観光旅行が相憎く天候のため、苦心したスケジュールが富士山も見えず緑の山も湖も霞んでしまつてはさぞ感興も乏しかったことと残念に存じます。

昨年高知の総会の折、次期開催地として静岡県が指名されお引受けいたしましたものの高知の総会が余りに立派でしたので責任を感じ心配でございました。

資金というものもなく不馴れな仕事で、何から手をつけていいのかさえない始末でございましたが幹部の先生方はじめ会員の先生方の一方ならぬご協力とお骨折りによつて方針も定まり三月の終りには軌道に乗つたのでございます。会場の選定には会議と宿泊が同じ処であつた高知の例が大変に便利に思えましたのでそれを重点的に選びました。静岡市の静岡市に適當なところが見付からなくて熱海に決定いたしました。宿泊については最後までいろいろ変更があり係りの先生方は大変ご苦労だつたようでございます。

熱海は交通の便は良いのですが珍らしい処でないの心配いたしました。四百名近くの会員にお出頂きホットいたしました。会の進め方について色々反省も有りますが、第一に感じたことは少くともその前日に現場で本部の

子、江田フジ、遠藤ハナ、及川富美子、大岡一子、大川環姫、尾形登美子、岡田トモ、小倉陽子、尾島登志子、落合ハナコ、小野春生、加藤和子、加藤ふみ子、加藤正子、上条正子、神山シヅ、刈谷愛、岸千鶴子、岸ふみ子、木田信子、熊手テロ、倉八千代、花見晴子、小出つる子、後藤明代、小森あや子、小山千代、齊藤千代子、坂井タマノ、佐々木昌子、佐藤千代子、佐藤敏子、佐野アヤ子、三辺幸子、柴一葉、鈴木文子、関根みよ、添田百枝、高橋康子、高橋龍子、田中五味、田中 睦、都竹ふさ、長尾スミ子、中川富士、中島シズ、中田美奈子、中村マサ、中本カツ子、野村多賀子、橋川ふさ子、平出ふさ江、藤井壽子、藤井稔、藤岡邦子、藤本芳子、藤原幸子、二見とめ、政川ゆき、増田志津子、松岡智恵子、真中はるゑ、三神美和、宮崎ミヤ、森川みどり、柳瀬路子、山崎隆子、山本いし、山本美代子、山本和歌子、横須賀ハシメ、横山貞、吉田茂子、若江百枝、早稲田かめ、渡辺文子。

同伴者九名 計 百一名 (四七・七・十三)

五月十四日に熱海のニュー・フジヤホテルで開催された第十七回日本女医会総会には全国から大勢の先生方がご

運営委員の方との緊密な打ち合せの必要なきことをつくづく感じました。

ともあれ総会が無事に終了したのは県下の会員の先生方の終りになる程盛り上ったご協力と、献身的なお骨折

り、又思わぬ方面からの温いご協力を頂いた結果でございます。まことに有難いことと思っております。



女子医専卒業と

救ライ事業

林 富美子

昭和四年四月東京女子医専を卒業させていただき、第一志望とするところは病理学であったが家庭の事情で断念した。

ライ事業を生涯の仕事としたのは私の若い日のキリスト教徒的考え方が根本となつてゐる。先づ最も医者が不足している処において、自分が修得した医療技術を力一ぱい使ってみようと決心したことによる。

学校の教務室で交渉した、都下東村山村のライ療養所では欠員がなく、仕方なく先輩松田ナミ女史の紹介で深川にある養育会病院の内科に入局、医長植木良佐博士の指導で内科学を実地研究した。

昭和五年六月、突然「ジレイデタ・オイデ コフ」との府県立ライ療養所

に御処理下さつたり又他の先生方のご家族ぐるみの応援は涙ぐましい程の感激でございます。

又一方県下の会員の先生方の地域における実績の程も思い知らされて誇らしい思いもいたしました。

県下会員が一致協力してこの度の重責を果し得ましたことを深く感謝申し上げます。

▽ △

全生病院、院長、光田健輔先生の電報で私は全生病院医員を拝命し、ライ事業の末席を得た謂である。

後に分つたことであるが光田は世界的ライ病理学者であった。彼は明治三〇年、東大病理学教室において、山極、三浦兩教授に学び、日本の前身済生学会に於て病理学を教えたこともある人であった。この明治三〇年には、第一回の万国ライ会議がベルリンで開催され、日本からも北里、土肥の兩教授がご出席され、光田もその事もあつたのか卅二年にはライ病理組織の処女論文を発表している。

かくして私ははからずも第一志望であつた病理学を恩師光田の下で勉強できる好運に出会つたのである。死亡した全患者の遺体はことごとく

解剖すると言ふ契約があつたために入園者千人をこえる全生病院で多数の解剖が行われた。死者のある限り、日曜・祭日を問はず行われ、脳脊髄はもとより、副腎の小臓器にいたるまでつぶさに剖見、病理組織を、臨床のかたわら夜も昼も研究をつづけた。

国立ライ療養所愛生園に転任

日本に於てはじめて国立療養所が岡山県に開設され、光田は園長を拝命して転任、私も最初の女医として国立医官、高等官に陞叙された。昭和七年七月のことである。

ライには失明する者多く、死、以上にライには悲惨であつた、そのため光田は私にすすめて眼科学の修得をなさしめた。ライ眼科の大家、塩沼英之助の下に学び、又高松日赤の眼科に内地留学を命ぜられた。このときから私のライ盲との戦いの歴史がはじまつた。

虹彩切除による仮瞳孔形成、続発性白内障の手術、兎眼、上眼瞼下垂の整形と、来る日も来る日も患者の要望に応えた。

ライ検診の旅

ベストセラー「小島の春」で有名な小川正子女史が長島愛生園に就職されたのもこの頃である。「ライ院も知らず、治療の術も知らず、十年・二十年と自宅にこもり、かえり見られることもなく、放置されて、長い年月泣いて来た山村、孤島の患者を検診し、その

死地からつれもどす」これがライ検診の目的であつた。小川女史は主に高知県、瀬戸内海の小さい島々、作北の山中にまで及んだ。私は愛媛県を中心に高知県境まで歩いた。沢山のライ患者とその家族とを検診し、患者をその死地からつれもどした。

結婚と沖繩のライ検診

光田の下でライ病理、ことにライ眼病理に取り組んだ矢先、結婚をすすめられて敬愛園々長、同じ国立ライ療養所の同志、林文雄と結婚した。勿論光田が表裏ともに仲人であつた。しかし私の学問的要望はここに於て再び断念しなくてはならなかつた。

敬愛園は、日本の最南端鹿兒島にあり、日本のライ濃厚地帯に対する全責任があつた。

沖繩、奄美諸島を含めたライ患者救済には困難を極めつつも、七島灘を渡つて小舟は百人、二百人のライ患者をのせて取寄せた。

その当時であつたので私は主人から結婚九日目に単身沖繩検診を命ぜられた。二週間にわたり、患者のかくれ住む、横穴式墓場、海岸の各地を検診し、患者をなくさめはげまして歩いた。

帰宅後の報告は主人が当局に訴える資料となつた。その故かどうかは知らないが、昭和十三年、沖繩にも国立ライ療養所愛楽園が屋我地島に設置された。

その後二児が与えられて専ら家政に當つたが、主人の父竹治郎が食道癌を罹り、その看護に専念した。美しき心づかいの一はしや

嫁がそえたる腕のこの花

食事のむづかしくなつた老人の食膳に、早咲きの梅の一輪を黒塗りの腕の上に置いたのがこの一首となつたのである。父の野辺の送りの日は、主人は厚生省の命令で奄美の療養所設置反対の、地元民宣撫のために布美大島の名瀬のさんばしに上陸した日であつた。

▼夫文雄の病氣と大島青松園転任 星塚敬愛園は開園も間なく、患者は二千名に達した。折悪しく日支事變が降り、職員は次々に応召戦場の花と散つた。若い医官、事務職員があつた。私は二児を姑にまかせて再び聴診器をとり、園内医療につとめた。

主人は過度の疲労と次々に起こる愛する部下の戦死に心を痛め、苦悩したが遂に学生時代の結核が再発して病床の人となつた。

病床の陣頭指揮も限界に達し、止めるのを振り切つて、香川県大島療養所に転地療養、風光明媚、魚貝の豊富な恵れた島に來たのは昭和十九年二月のことである。

私はここで内科医として働きつつ二児を養育、主人の看護をして來たが、二十二年七月、三カ年で遂に主人は感謝のうちに逝つた。私は人々のすすめで更に五年間、八年間の島住みの生活にたえて來た。

島の小さい分教場で二人の子供は小学教育を修了したが、遺児の将来に思ひあぐんでいた時、丁度静岡県、御殿場在の神山復生病院から依頼を受けた。小さい私立ライ院では長い間専任医師がなく、戦後の新しい医療法では専

任の医師の無い病院はたとえライ病院であつても閉鎖すると言ふ上からの命令で非常に困つていた。

識者は八方に医師を探すため努力した時、たまたま私がキリスト教徒であることを知り白羽の矢がたち、懇望されて復生病院に転任することになった。

▼復生病院と無医村医療▲

昭和二十六年暮も間近頃、静岡県静岡県の僻村に二児をつれて降り立った。明治二十二年の開設、外人宣教師によるものである。日本の八十二年の救ライ歴史をかざる冠とも言うべき日本最古のライ院である。患者は百名内外に止まり、宗教的に訓育された病者には、国立の如きわづらわしさはなかった。

子供の教育のためにも最適であつたと喜んでいた矢先、院長から病院の経営を助ける手段として一般村人の外来診療をはじめよとの命令を受けて無医村地区に近い部落民の一般外来診療を始めたのは昭和二十七年四月である。これは私としては長年ライ院のため迷惑をおかけした部落民に対する感謝の心でもあつた。しかしこぼかりでなく遠隔地から診療をもとめて来る患者が増加して来たので院長は昭和三十八年これを聖マリア病院として一般病院にふみ切つた。私はその任でないことを知り、ライ院だけに止ることにして聖マリア病院には外科内科の二医師を迎えて新しく出発した。

一方私の子供二人は大学進学 of 年令に達したので、私立ライ院の少ない給料では間に合はず、院長の許可のもと

に二キロ富士山ろく寄りの一層僻地、大坂に私個人の夜間診療を設けた。後からここに自衛隊が駐とんとして来て団地となり人口は急増した。その上自衛隊医務室の医師が足りず懇望されて嘱託医となり五年間つとめて感謝状ももらった。

長男は無事国立医科を卒業、長女も聖ルカ大を卒業した。長女の医師志願をまげて聖ルカ大に止めただけが今でも私の心残りである。

▼特老十字の園御殿分院▲

たまたま知人浜松十字の園の園長が私の処に立ちより、同じ特老分院が御殿場にできることを話され、ついで医師をもとめて話を話した。私は八方心当りの女医に一年間にわたり応援を求めてみたが遂になく、四十六年四月開所になるにもかわらず医師がなく、とうとう私が兼任のはめとなつた調である。

御殿場十字の園は定員五十二名、重病のねたきり老人で、一日三千枚のおむつが使用されている。八〇%は診療の対象となつている現状でなかなかの大仕事である。自宅から十キロも離れている上、自宅の診療もあり、復生病院もありなかなか困難であるが、今日にいたるまで貧しい私の医療技術をもつてしてもなお私を必要とする、私の座のあることに感謝している。

今更に恩師吉岡弥生先生の事業に対し、畏敬の思いを深くするものであ

後記

光田健輔を主軸とする系統的、組織

的ライ運動は活発に活動して二千年来のライ暗黒時代を突破して来た。そこへスルホン剤の劇的治ライ効果は日本の明治・大正・昭和にわたる八十二年の救ライという不滅の歴史の幕を閉じようとしている。私共はなお多くのライ者を抱えて苦悩する沖繩、韓国、印度など隣邦の救ライに目を向けたらと思う。

功労賞を頂いて

小出つる子

このたび、日本女医会熱海市総会で優功賞を頂き、ありがとうございます。ルーベンダンに対する、この賞は私共のクラスメートが永年考えて開発し、エディクラフトの努力で、だんだんよいものができたのです。幸い皆様のご好評を得て売上げも伸び、日本女医会の基金として役立つ、また将来にも役立つであろうというので授賞されたのだと思いますが、ただ私一人が会より賞を頂くべきものではなく、販布に、また宣伝にご協力下さった会員全員にも会よりお礼を申し上げて頂きたいように思っております。

発案自体はほんの一寸した思い付きです。永年試用してアドバイス下さった愛媛の西山登紀子先生、最初の万博用の他社の製品はあまりよくありませんでしたが、これを万博のための寄付と割り切つて、購入して下さった諸先

生、ドイツのレンズ基材の研究入手、デザインの開発等に努力改良を加えられ多大の研究費を投じ現在の良い製品にされたエディクラフトのファイト、大変複雑でめんどうな販布業務をさばかれた日本女医会の事務の方々、その上につかつか嬉しいパッチを頂いたのは私で大いに恐縮しています。

吉岡弥生先生は、女性の健康のために、温かい下着やコンビネーション、生理用品をご考案になり、その売上げをどんどん女子医学の向上のために御投じなさいました。利用者の体のために良いので非常に好評を得て、その後には、吉岡弥生先生ご考案、ご指導の字が入っていると諸種のアンダーウェアなどに箔がついたものだそうです。

今はただ一つの小さいルーベンダンのみですが、日本女医会考案、日本女医会推薦の文字が吉岡先生のようなバリユーがあるようになるまで、色々なものができ、アイディアのご寄付などがつづくことを念じております。

石川県支部日より

米林 梅子

さる四月十日(十二日)金沢市において、日本循環器学会が開催されました折、御来沢の三神会長先生、小俣副会長先生をお迎えして石川県支部の集いの茶室。折しも桜花爛漫。数多の種類

の桜が一斉に咲揃つた華やいだ情景、更に茶室より望む視界には枝垂桜が池に影を映し、やがて時の移るにつれて雪洞の灯色も目立つ頃夢のように浮ぶ夜桜、それに時折注ぐ絹糸のような雨。兼六園の代表的なよい季節が両先生をお待ちしていたかのような春宵の一刻であつたと申せましょう。

有意義な中にも和やかな、いつまでも語りあつていたい！ そのような雰囲気の中でございました。終りに支部会員の忘れ得ぬあたたかい想い出をお与え下さいました両先生に深く感謝申し上げます。



兼六園内三芳庵の茶室

(写真説明)

- 横井 美佐子
- 織田 秀子
- 牛村 澄子
- 金木 志保子
- 宮村 明子
- 伊藤 久子
- 米林 梅子
- 一林 なを
- 三神会長先生
- 小俣副会長先生
- 早稲田 かめの
- 堀岡 芳枝

「みんなの心を沖繩に」

愛知県支部

沖繩の子供達の教育と福祉のために... 提唱された『みんなの心を沖繩に』(主催、中央共同募金協会、南方同胞援護会。後援、NHK、その他)の運動に対し、県内一地区よりは非女医会でも!! との声があがり、取敢えず支部として三万円を取り扱い期間ぎりぎりにNHKの窓口へ依頼しました。

「事後承認になりましたが主旨にご賛同下さいましたら一口五百円以上で「寄附を」と、支部全会員にお願い致しました所、直ちに九十八名の会員より続々と暖いお心が集り、中には「タクシーに乗った積りでバスに乗りその二十回分を送ります」と六千円もご寄せ載いた会員もあって係一同大いに感激致しました。

総額九万七千円に達しましたので第二回分として六万七千円を再度NHKに持参致しました所、既に締切後に他の窓口を指示されました。しかし折角の会員の熱意を少しでも有益にと考慮致しまして、日本女医会本部より沖繩の吉田春子先生をご紹介いただきましたので、沖繩の女医会を通じ、この運動に対し愛知県支部会員の心を生かしてより身近にお使いいただくようお世話願う事をお願い申し上げますと

ころご快諾頂きました。これを機に又いろいろの面で沖繩県の女医さん方と交流が始められれば望外のよろこびと存じます。

新生沖繩県の女医さん方のご健闘を心からお祈り申し上げ、支部ニュースといたします。(文責 住藤千代子)

よもすがら

よもすがら思いつもりしこの嘆き、一筆しめし参らせ候、ひたすらにくすしの道にはげめども世の風強く保険医はかなし。医師なべて高額所得といわれても保険収入ガラス張り、十年一日二十四時間身体眠れど心は休まず、休診続けば患者が心配、月末迫れば支払い心配、我より大事な従業員様に給料払えば薬代赤字、収入増加と喜ぶ時は税金のみが残るなり。理髪千円、美容院一回参千円、生命預り五百円、費銭ベースの医療費は超過勤務も参拾円、家族労働、レセ書夜なべ、カード一枚で患者は気まぐ、雪の深夜にベル鳴りひびき致し方なしとび起きて、電気、ストーブ、それ消毒とふるえ乍らの診療も、光熱代とブレ手当をそれすら充たぬ料金の軽々しさに腹立つも、落着き眠りしクランケの姿を見れば我と我が心は満ちて医は仁術なり、いそいそと戻る。ベットの冷たさよ。まして前から熱あるに「夜半になり泣いて寝なくて困るので」当然顔なる若き母、医師も人間なり思わずも、声高になる心とど

めて患児のひとみ。ショック起れば忽ち破産、医師病めども養生不能、ポータスもなし、休暇なし、人間自分はいづくにぞ、モラル、ビジョンは高けれど末端医我疲れたり。

医療を良くするためならば一時は患者に迷惑も致し方なし総辞退、世間の非難も甘んじて、保険医療のあり方を慎思に求めて一ヶ月、十二項目の結末に抱きし期待もいづくにぞ、矢張り値上げの要求に過ぎなかつたかと批判をば受けたる緊急是正それすらも、厚生省の数字とはおよそ異なる結果なり、僅か一点ながし%の値上率、そのたを生れし内科系玉商品指導料、近頃これ程おかしくも哀しき事のあるぞかし。甲表、乙表異なれば、同じ病氣も待遇差別、血液疾患、肝炎、胆石症、ビタミンの欠乏症にアレルギー、甲表よろしい乙は駄目、それにも増して摩可不思議、医師リウマチ数ある中に急性リウマチ慢疾(慢性疾患指導料)で慢性リウマチ慢疾ならず。胃腸炎では非該当、されば腸炎別居させ、胃炎兼腸炎と病名を記載致せばハイO・K、その上乙表我々は常々診察する度に親切丁寧話しても、ムンテラのみでは証無無し、指導料とは指導料とれでもいから丸つけて与えよさらば与えられん、度重なりてクランケは「先生この紙に書いてある注意は全部おぼえたて、もうこの紙は要りません。」更にことあげ致さばや、十五円原価の薬をば投薬しても薬価代十円で切捨て、これ如何に。調剤科のまるめぞと解釈あるも不可解不合理この上なし、薬九層倍のイ

メージを逆手にとつて笑うのは製薬会社ばかりなり。

保険料率高くして政管赤字の補填にもならず赤字の利子補填、明治の初年から幾たびも、出したり引いたり医療分業又ぞろこゝに持ちだし、加えて特別税率も撤廃するぞと大上段、一部手直し改悪は医師と患者の信頼を傷つけ医療の荒廃をますます強めるばかりなり。真実の抜本改正、基本法ひたすら請い願うばかりなり。

(一 会 員)

第十三回国際女医会会議

参加者歓送会のお知らせ

日時 昭和四十七年八月二十七日
(日) 午後三時~午後四時
場所 ホテル・ニュー・オータニ 桜の間

日本女医会年金制度

老後の生活にゆとりを持たせる意味と会の発展に必要な資金の確保のため、是非ご加入をおすすめいたします。

一、加入について

(1) 日本女医会会員であればどなたでも加入できます。ただし年令七十九才まで。

(2) 加入後脱退することもできます。

二、掛金について

(1) 掛金は毎月三千元を一口とし年令により異なりますが、八口まで加入できます。

(2) 掛金は最寄りの安田信託銀行、富士銀行、三菱銀行、その他銀行に普通預金口座を開設し、毎月自動的に引落して送金する。

または、郵便振替送金で送れます。ただし、振替利用の場合は六ヶ月分まとめて送金することになります。

(3) 掛金は年金受給資格を取得するまで掛けます。

三、給 付

この制度は老令年金、遺族年金、中途脱退一時金、遺族一時金が給付され、老令年金は十年間もらえます。

日本女医会年金制度お申込みは直接本部にご連絡下さい。

年金委員会



日本女医会 バッチについて (事業部)

この度日本女医会のバッチができました。森川みどり先生がデザインされた杏の花を真紅の七宝焼にした12x18ミリのシックなものです。杏の花の由来は杏林(医士的美称)からで、出処は、神仙伝で

「董奉、戸山に居る、日に人のために病を治す、敢て銭を取らず、重き病癒る者には杏五株を種えしめ、軽き者に一株を種えしむ。かくの如くすること数年計十万余株、鬱然として林を成す、董仙の杏林と号す。」とある。

一ケ三百円です。十個以上にましまりますと送料は本部もちでお送りしますが、一個宛ですと送料は個人負担になります。お申し込みは本部まで。

ルーペンタン特別セール

延期のおしらせ

ルーペンタン、クリップの注文が多く、非常に好評です。振替用紙裏面に書いてあります新製品もできましたので、今回に限りサマーセール期間を八月末日まで延期いたします。中元、贈答用にとぞ。

ルーペンタン

(実用新案特許登録)

- ★からくさ シルバー製 九千八百円(鎖付)
十八金製 一万四千九百円
★デラックス シルバー製 九千八百円(鎖付)
十八金製 一万四千八百円
★ブレン シルバー製 八千円(鎖付)
十八金製 一万二千円
★ペンダント型 金色枠 三千円
銀色枠 二千円
★クリップ型 金色枠 二千円
銀色枠 二千円
★何れも郵送料共の価格にて従来通りペンダント型、クリップ型に限り本会々員は右価格の一割引きです。

住所不明者

住所不明会員の方々です。おわかりでしたら本部にこゝ報願います。

- 北海道 下川芳子、青森 稲垣鶴代、
堀中マツエ、秋田 内田八重子、高階
美恵子、岩手 柏原利子、柴田陽子、
宮城 石垣あや子、今井麻起子、大越
博子、小浜貞子、小島宮子、小松良子、
清水洋子、玉井ハル、豊島梢子、早坂
邦子、針生アイ、牧野礼子、山下由紀
子、浦井恒子、福島 桂京子、群馬
阿部登志、小沢周子、佐藤貞子、谷ふ
み子、藤田万里子、埼玉 白土淳子、
山口とも、千葉 石橋美枝子、竹内み
さ子、中野洋子、山本 鶴栄、中央
地引昌子、港 芝原志津尾、武石辰代、
新宿 尾形さなへ、加藤澄子、倉島紀
子、塩原千賀子、富田きぬ子、中村な
をゑ、松尾閑乃、三須玲子、三須芳子、
薬袋梨子、光瀬キミ、藤瑞純、文京
大塚睦子、野崎洋子、台東 田中敬子、
品川 池田久仁栄、牛込保子代、川島
うめ、大田 久野俊子、鈴木美絵路、
武谷郁子、遠山美恵子、中山綾子、世
田谷 伊藤三枝子、中山博子、松下フ
ユ、中野 小林玲子、吉沢久美子、杉
並 井上貞子、今井恵子、角田満寿子、
豊島 六城五十鈴、北 近江サチ、富
田芳子、足立 大川美津子、安藤敏子、
葛飾 日浦イワ、都下 相島芳枝、川
口寿恵子、魏貞子、浜田みどり、由利
富美子、山梨 保坂春子、渡辺美代、
神奈川 朝倉富美子、内村芳江、漆原
利子、小林成子、古賀郁子、坂口文子、
手塚婦美子、橋本たま、静岡 加藤久
子、愛知 栗屋実子、岡田かつ、武本
明子、三森弘子、長野 潮 緑、山川

- 美枝、新潟 坂井イヅ、広川きよし、
深井いさほ、藤井辨、富山 上田美知
子、田和子、松田美重子、石川 熊谷
愛子、奈良 梅山智子、大阪 4 菅尾
房子、西尾千津子、吉岡慶子、和田玉
江、大阪 5 高橋ひろみ、山本ヒサエ、
大阪 6 中野好子、大阪 7 北川季子、
仙波蔵子、土屋永子、大阪 8 岡葉子、
大阪 9 高森芳子、松本トミ子、大阪
10 安部シゲノ、遠藤律子、小川道子、
永沢登喜子、西夢津美、長谷川草子、
藤田百合子、京都 木崎恭子、近藤加
代子、藤井淳子、三好鏡子、兵庫 石
原九重、柏木淑子、金田すみ子、高山
重子、中森リコ、山崎福子、和歌山
一戸茂子、岡山 赤木螢子、広島
崎原桂子、都築敦子、鳥取 竹吉正子、
早川慶子、山口 上田政子、川野タミ、
藤田寛子、香川 青木道子、高田登茂
子、外山智恵子、吉井克子、愛媛 糸
静子、近藤道子、徳島 幸地吉子、福
岡 青木初子、植村彰子、小宮山亮子、
田中治子、佐賀 斎藤つな、早川アキ、
長崎 木寺愛、渋谷虎乃、熊本 藤木
正子、大分 橋本猶枝、宮崎 江藤あ
つ、45年新卒 小川信子、白秀郷、宮
原茂子、46年新卒 飯久保美代子、飯
塚ひろみ、風間厚世、品川公子、松本
文子、大和敦子、47年新卒 伊藤圭子、
北崎真智子

冬季「欧州の旅」のご案内

盛夏の候、会員諸先生方には益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。さて、昨今の海外旅行ブームを反映

してお正月を海外で過ごす方々が毎年増えてまいりました。そこで、来るお正月休みを利用した「冬季欧州の旅」を昨年に続いて企画いたしました。

会員諸先はもとより、かねてご苦勞を共にされているご家族・近親の方々、友人の方々、又福利厚生の一環として看護婦・薬剤師の方々の日頃の勞をねぎらう意味で本旅行に皆様おさそいあわせの上で参加されるようお勧めいたします。

本旅行は格安な旅行費で欧州内を短期間で有効に旅行し、現地のご案内はベテランの添乗員が伴いますので、海外旅行が初めての方も安心してご参加できます。

旅行期間 十三日間
自 昭和四十七年十二月二十七日(水)
至 昭和四十八年一月八日(月)
旅行日程
東京(一泊)→阿姆斯特ダム(二泊)→ロンドン(二泊)→パリ(三泊)→ジュネーブ(一泊)→モンブラン(一泊)→マ(三泊)→東京

募集人員 二五名様以上
総経費 二六万八千円
この総経費には、航空運賃、バス料金、ホテル料金、毎日三食(但し、自由行動日の昼食は除く)を含みます。

申込金 五万円(お申し込みの方に、は、後程ご請求申し上げます)
申込締切日 昭和四十七年十一月二十日
☆阿姆斯特ダム・榆の並木に兩岸をふちどられた静かな運河、物語風な橋「北のベニス」といわれています。

☆ロンドン 山高帽に黒い雨傘、その一方ビートルズが代表するように、その伝統を破ろうとするエネルギーがあふれている不思議な街角。

☆パリ ヨーロッパ文化と芸術の中心地。静かなお正月をパリで過します。☆ジュネーブ 三日月形のレマン湖の美しい水がロース川となって流れ出る街。アルプスの女王モンブランへは、スキーで有名なシャモニーよりロープウェイで登ります。

☆ローマ 二七〇〇年の歴史が生んだ無数の遺跡と廃虚の「永遠の都」。終着駅、スペイン広場、など映画でおなじみの深い場所が随所にある街。

お申し込み先は
東京都新宿区市ヶ谷河田町19
日本女医学会 本部
電話 三四一〇九六八

旅行のお世話及びお問合せは
東京都港区芝罘平町35
日本交通公社海外旅行虎の門支店
電話 五〇四一七四一
担当 三枝、税所

昭和四十七年七月二十日印刷
昭和四十七年七月二十五日発行
編集人 久保田く
発行人 日本女医学会
発行所 東京都新宿区市ヶ谷河田町19
社団法人 日本女医学会
TEL(35)〇九六八
印刷所 東京都港区白金五、四、一
興栄美術印刷株式会社

題字 吉岡 弥生